



教員特別研究（その他研究）成果報告書 | 配分研究費：250千円（令和2年度～令和4年度（2年延長））

『日本語履修のためのブックレット』（仮称）の作成に関する共同研究

目的・概要

本研究は、令和元年度に行われた「『SUAC外国語履修のためのブックレット』の改訂に関する研究」の延長線上に位置付けられるものであり、留学生あるいは留学希望者（特に日本語未習得～初級レベルの学生）に対して、日本語と日本、本学所在地の浜松に関する基礎知識を提供し、日本語の学習、日本での生活及び留学自体に対する不安を払拭し、勉学意欲や留学の満足度を高めることを目的とする。

期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日、令和3年4月1日～令和5年3月31日

研究担当者

多文化・多言語教育研究センター	特任講師	羅 沢宇（研究代表者）
文化政策学部 国際文化学科	教授	林 在圭
文化政策学部 国際文化学科	教授	ジャック・ライアン
文化政策学部 国際文化学科	教授	佐野 由紀子

スケジュール

令和2年4月1日～4年6月30日	共同研究者との打ち合わせ、業務の分担等の確認など（新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言の発令、研究分担者2名の退職などの原因により、大幅な中断あり）
令和2年10月1日～4年9月30日	スケジュールと分担業務の調整、掲載内容とレイアウトの検討、新しい研究分担者への打診（同前の理由により、研究内容、調査方法と編集方針を大幅に変更した）
令和4年10月1日～11月30日	底本となる日本語版原稿の執筆、研究分担者（日本語監修）との意見交換、中国語版の原稿作成、レイアウトの確認
令和4年12月1日～5年1月31日 令和5年2月1日～3月29日	底本から英語・韓国語版への翻訳、日本語学習体験等の執筆 電子版の編集と校正、冊子版の試作

研究成果

- 1 中・韓・英 3か国版の『日本語履修のためのブックレット』を作成した。
- 2 電子版（PDF形式）及び各言語の分割版を大学公式WEBサイト内などで公開する予定。在学中の留学生のみならず、本学への留学希望者、日本語や日本文化に興味を持つ人であれば、だれでも閲覧できるようにする。
- 3 冊子版は、配布対象が今後入学する留学生あるいは留学希望者となっているため、製本・印刷の外注をせず、多文化・多言語教育研究センター内で数十部程度印刷・製本することにした。



今後の研究成果の還元方法

- 1 冊子版は新年度の新規留学生に配布する。
- 2 オープンキャンパス時に『外国語履修のためのブックレット 第2版』と共に展示し、希望者に配布する。
- 3 残部は、多文化・多言語教育研究センター、教務・学生室、図書館・情報センターに配架するなど、在学中の留学生、外国にルーツを持つ学生、日本語教職課程の履修者など、日本語あるいは日本語教育に興味のある学生に配布する。
- 4 必要に応じて増刷し、留学フェアなどで本学への留学希望者に、または査証の書類と共に本学への留学予定者へ配布することも考えられる。
- 5 今後は、今回できなかった他大学への視察、留学生への聞き取り調査などを実施し、内容をさらに充実させる予定である。